

議事録 兼 報告書

会議名称	伊那市上下水道事業運営審議会
日時	令和2年3月11日(水) 18:30~19:20
場所	伊那市役所 庁議室
議事内容	
1 開会のことば 水道部長	
2 あいさつ 会長	
3 会議事項(議長 会長)	
(1) 水道事業経営健全化計画 第3改訂版(案)について	
・資料により、事務局説明	
・質疑討論	
(委員) 2番の経営状況の悪化について、更なる経費の削減とあるが、具体的に経費削減というのはどのようなことが含まれるのか教えてもらいたい。	
(事務局) 経費の削減に対する対応といたしましては、概要版裏面の具体的施策の推進のところに載っています。大きく関係しますのは、水道サービスの持続というところ、2番目の経営基盤の強化及び財源の確保というところが代表的な取り組みになります。また有収率の向上対策についても、有収率を上げることによって経費の削減というところにつながっていきます。	
(委員) この部分がストレートに具体的な対策に見えなかったというのは、これらを実現するために具体的に何をするのかということが聞きたかったのだと思います。ここに書いてあるのは目標だと思います。時間の関係もあるので全てを説明するのは難しいと思いますので、例えば1つでも2つでも事例があれば説明があるとより理解しやすくなると思います。	
(事務局) 具体的な内容ということになりますと本編の冊子の中で、例えば有収率の向上については、25ページのところには、料金として回収できない金額を少しでも減らして経営の改善・効率化を進めていく内容を記載しています。より具体的には平成28年度から検針時漏水判定機を用いて調査を行っていて、調査の結果漏水が認められた場合は、持ち主の方に話をして漏水修理を進め、有収率を向上させるよう取り組んでいます。	
(事務局) 有収率の向上についてはまだ見込みではありますが、77%程度まで向上する見込みです。特に上水道では企業団から購入した水を使用しているため、購入した水を出来るだけ無駄にすることの無いように取り組んでいます。簡易水道については半分近くが無駄になっていることになりましたが、漏水については全部を端から一度に直していくとなると大きな費用がかかるので、様子を見ながら順次対応していく予定です。	
(委員) 具体的施策の(1)(2)はいずれもハード中心ですので、どうあれこれは進めてい	

かなければいけないと思います。特に安心安全とか、災害に強い水道システムという考え方は当然だと思います。(3)については一部ハードも入っていますが、ソフトの面が多いと思います。このところでどれくらい知恵を絞っていくかということが大事な部分だと思います。冊子のほうに詳しく書いてある部分もありますが、引き続きこれについては本審議会においてもご議論いただければと思いますし、委員の皆様からもまた良い案があれば提案していただければと思います。前回の審議会でも話をしましたが、これだけの厳しい状況であるということは我々審議委員の中だけではなく、市民の皆さんにも周知してもらいたいと思います。

(2) 下水道事業経営健全化計画 第5改訂版(案)について

- ・資料により、事務局説明
- ・質疑討論

(委員) 料金改定は計算する上での仮定ということでよろしいですね。それらを前提とした場合に、こうしたシミュレーションになるということです。

(委員) 汚泥処理の関係で、諏訪市の汚泥処理だと金がとれてだいぶ助かっていると聞きました。伊那市でも可能性があるのであれば調べてみる価値はあるのではないかと思いますがいかがでしょうか。

(委員) 諏訪は県の終末処理場で処理をしています。諏訪は一帯が工業地帯ですので、メッキだとかいろいろな重金属が入ってきます。それを償却する過程で、煙突などにたまたま金があることが分かったため、金を回収し処分費の一部に充てています。伊那市の場合は、流入してきた汚泥は脱水処理を行い、堆肥などに利用しています。広域の中間処理施設を作る際にも汚泥を償却するという案もありましたが、水分が多く処理は難しいということが分かり、堆肥等への利用を行っているため難しい状況です。

(委員) 処理する施設が小規模で分散しているため統合を行っていくという話がありましたが最終的にいくつ統合を行っていくのでしょうか。

(事務局) 33ページをご覧ください。以前から統合の検討は進めておりまして、農集小原を公共高遠に、美篤団地を公共伊那に、殿島団地を特環殿島にそれぞれ統合を完了しています。直近で予定しているのは、農集小出南部を特環小出島に来年度工事を行って統合する予定です。この統合によって、今後単独で更新した場合に比べ、年間約370万円程度節約できる見込みです。その他、美篤東部、農集福地については統合したほうが良いと調査結果も出ており、早ければ令和5年くらいには統合できればと考えています。

(委員) 施設をまとめていくことは効率化という意味では良いと思います。ただし、これが一箇所に集中しすぎると、災害に対応できるのかという問題も生じます。お金のかかることなので100%というのは難しいと思いますが、併せて施設や設備の災害時に対する強靭性を高めていくということもご検討いただきたいと思います。

(3) その他

- ・なし

4 その他

- ・次回会議の日程は、令和2年7月頃を予定。

5 閉会のことば

水道部長

以 上